

第23回通常総代会資料

日 時 令和7年6月9日（月）午後1時30分
場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷
東京都新宿区市谷本村町4-1



全日本畠事業協同組合

第23回通常総代会式次第

1. 開 会

1. 物故組合員の方々へ默祷

1. 理事長挨拶

1. 来賓挨拶

1. 功労者表彰

1. 議長団選出

1. 議 事

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 第1号議案 | 令和6年度事業報告承認の件 |
| 第2号議案 | 令和6年度決算報告承認の件 |
| 第3号議案 | 剰余金処分(案)承認の件(監査報告) |
| 第4号議案 | 令和7年度事業計画(案)承認の件 |
| 第5号議案 | 令和7年度事業予算(案)承認の件 |
| 第6号議案 | 定款の一部改訂(案)承認の件 |
| 第7号議案 | 令和7年度賦課金徴収方法等(案)承認の件 |
| 第8号議案 | 令和7年度における手数料、使用料の最高限度額(案)
承認の件 |
| 第9号議案 | 令和7年度組合借入金最高限度額(案)承認の件 |
| 第10号議案 | 役員選任の件 |
| 第11号議案 | 役員報酬(案)承認の件 |
| 第12号議案 | 次期総代会開催地決定の件 |

1. 閉 会

第1回理事会（2階 琵琶の間）

令和6年度功労者表彰

(敬称略)

No.	支部名	氏 名	No.	支部名	氏 名
1	千葉	サゴウ ヨシタカ 佐合 由孝	7	和歌山	ミナミムラ ヒデキ 南村 英輝
2	神奈川	スナガワ タカユキ 砂川 貴幸	8	広島	ミヤザキ ヒロカズ 宮崎 広一
3	岐阜	ミヤザワ ノリヒデ 宮沢 礼秀	9	福岡	クママル ツヨシ 熊丸 剛
4	愛知	オオハシ チカラ 大橋 力	10	宮崎	マツヤマ ヒロシ 松山 寛
5	滋賀	オオタ ススム 太田 進	11	鹿児島	トヨクラ マサヒロ 豊倉 昌弘
6	兵庫	ナカイ タケオ 中井 丈夫		合計	11名

令和6年度事業報告

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

I. 概況

製造業、とりわけ畳業界におきましては、かつてない厳しい現況に直面しております。畳表の年間流通量が推定800万帖まで減少しております。畳店におきましては、施工単価の見直しや経費の計上、経営方針の改善が急務となっている感があります。そんな厳しい状況下ではありますが、組合事業は順調に展開することができました。個人ではできないスケールの大きなことを実行するのが、やはり業界を代表する団体の使命ではないかと考えております。

[事務局運営]

新しい事務局体制も2年が経過し、スムーズな対応が可能になっております。tataの集計作業は400件近い発表・発送業務等があり、畳総合保険の取り扱い件数は1,000件を超えて繁雑ですが、迅速に対処しております。HP上の組合加入畳店のリストも、最新の情報を正確に反映しております。経済産業省認可団体として各省庁への届け出や定款変更・登記なども、期限内に迅速に処理を行いました。経費等の支払い案件につきましては、事務員→事務局長→総務委員長→理事長の順に確認して捺印する作業を必須としました。

[畳振興議員連盟]

昨年の衆議院議員選挙に於きまして、畳振興議員連盟加入の議員に変動がありました。また本年は参議院議員選挙も行われます。夏以降には議連の有村幹事長に相談の上、全日本たたみ振興政治連盟藤本正会長が中心となり、議員の確認と再編作業を行う予定です。

[所管省庁]

有り難い事に、畳を所管する各省庁とは何度も面談等を行わせて頂きました。経済産業省からは畳業界に協力できる案件をいくつもご提案頂き、11月には異業種の今治タオル工業組合での研修・意見交換、2月には（一財）住宅産業研修財団コミュニケーション・プラザで畳業界の現況を取り上げて頂き、理事長石河が講演を行いました。

農林水産省には全国い産業連携協議会を通じ、全日畳の提案事業案件を御承認頂き、3月に「暮らしとタタミ再発見BOOK」を10万部作成、全日畳加入畳店をはじめ全国の畳店に配布しました。来期もまた、畳需要増加につながる事業を提案させて頂きます。

大阪・関西万博では6月10日と13日の両日EXPOメッセ「WASSE」に於きまして、いぐさコースターおよびミニ畳作りワークショップの開催委託を頂きました。PDメンバーを中心に派遣し、イベントを成功させるよう臨みます。

国土交通省には昨年11月に就任された中野洋昌大臣と理事長石河との面談を設定頂き、公共工事および建設業許可区分における畠工事業の問題点改善を強くお願ひ致しました。大臣の御指示により、4月10日に各担当課長の方々にヒアリングを行って頂きました。今後も引き続き交渉にあたる所存です。

厚生労働省におきましては、新しい技能士資格「特級技能士」について相談させて頂き、また畠製作技能検定の現況について厳しいご指摘も頂きました。

以上これらの実現につきましては、全日畠が畠業界を代表する組織であることを各省庁にご認識頂いているからこそと理解しております。

[品質管理責任者セミナー]

コロナ禍や能登半島地震などの影響により、品質管理責任者の更新セミナーが開催できなかった地区（富山・鳥取）や、新畠のBL認定が待たれる中での資格取得を希望される方々の新規セミナー（富山）を開催致しました。新規セミナーでは遠方から受講された方もおり、また若い組合員の方々が多く受講されたのが印象的でした。更新セミナー終了後には、全国い産業連携協議会の協力によって畠表の見方講習も行っております。

またセミナー終了後に、約1時間全日畠の活動についてシェアする機会を設け、役員を派遣して組合活動についての説明や質疑応答なども行いました。

[BLベターリビング]

（一財）ベターリビングと行っております新畠のBL認定につきましては、3回の委員会開催に3名の委員を派遣しました。今後しばらくは内容についての議論を重ねることとなります。できるだけ早い認定実現に向けて進めて行きます。BL認定が実現すれば、規格が無い事を理由に新築現場に畠が採用されない問題等の大きな解決策になるはずです。

[PD]

4年前より活動を始めましたPD事業ですが、メンバーの方々がSNSを通じて、一般消費者の方々に畠に関する情報を繰り返しお伝えしております。畠の日（9月24日）にAEONモールで行う畠イベント開催実現に向けて、毎月のWEB会議を重ねました。来期（第3期）は18名で活動致します。活動内容はHPのメンバーページで閲覧いただけます。

[tata事業]

今期11回目を迎えた畠販売促進キャンペーンtataは、今や全日畠に加入している大きなメリットの一つとして組合員の皆様に認識頂いております。応募ハガキの回収率が直近数年間で最大となる販売枚数の約50%と増大しました。今後も工夫を凝らし、組合組織だからこそできる販売促進キャンペーンを展開していきたいと考えております。

[技能グランプリ]

来年2月に大阪で第33回技能グランプリが開催されることが決定しました。毎回技能グランプリの運営は、中央職業能力開発協会より全日曆に委託されております。先日、大会役員・運営委員・競技委員の登録を終えたところです。6月にはグランプリ合同委員会が開かれます。前回、過去のグランプリ受賞者に競技委員をお願いした試みは、多くの賛同を頂きました。次回も新たな布陣で運営に臨む予定です。

また近年のグランプリ出場人気の高まりから、弊組合では関知できない出場者の選定事由について、可能な限り明確にしてもらいたい旨を技能推進部に申し出致しました。

[広報事業]

100周年を迎えた(公社)日本将棋連盟が、都内と高槻市に建設した東西新会館の特別対局室に、熊本県産最上級畳表「ひのさらさ」を使った畳を計50帖寄贈しました。将棋は畳の上で行われる日本の伝統文化の一つであり、国産の上質な畳の上で対局を行って頂きたいという趣旨に御賛同頂き、産地団体より熊本を代表する生産者の畳表を提供頂き、2つの団体からも協賛金を頂きました。タイトル戦が行われる国内名勝地の和室に、今後このような最高ランクの畳が普及することを願っています。

両新会館のオープニングでは、多くのメディアによってこの特別対局室の畳がSNS等で発信され、「ひのさらさ」というワードが数多く検索されました。畳の大きな広報になりました。

[渉外]

年に2度発刊されている積算単価本の畳工事価格が、現況に反した価格であったことから、出版社2社に再調査を強く求めました。その結果、工事価格が適正な価格に改訂されました。既にいくつかの県で、この適正な価格に基づく契約締結が行われております。

八代地域農業協同組合様からの要望により、毎年熊本県八代市で開催されます「熊本県 い草・い製品品評会」におきまして、今期から「全日本畳事業協同組合特別賞」と冠した賞を出させて頂くことになりました。2月4日に行われた品評会で、田中雄喜さんが最初の特別賞に輝きました。

[経理]

決算面におきましては、今期も何とかプラス決算で終えることができました。しかしながら一方で、組合運営に関して対価を計上していない雇用負担もあり、数字に現れ出ておりません。各省庁で処遇改善、適正な労務費、働き方改革といった方向性が強く推進され、また企業団体においてはガバナンスの強化が必須となった社会情勢の中、今後は全国組織である全日曆は健全で持続可能な組合運営を実現していかなくてはならないと考えております。

今期の議案として提出致しました個人年会費3,000円、賛助会費1万円の値上げにつきましては、全日曆発足後23年間で2回目の改定になります。前回改定を行っ

た8年前と比べて組合員数が約1,000名減少し、組合費収入が約500万円減少しました。これを現在の1,850名で補うと1人当たり約2,700円となり、3,000円の会費改定とさせて頂きました。これは組合員が必要な経費を公平に負担し、一定の規模で組合組織が存続するための最低限の予算を確保するためです。組合員の皆様のご理解をお願い申し上げます。

最後に、畠振興議員連盟を通じた国の行政や省庁との接点があり、畠業界最大の組織である全日畠という存在が、業界の中で益々必要とされていることを痛感しております。

II. 委員会報告

1. 総務委員会

(1) 組合員数及び出資口数 単位：人数・口数

摘要 出資 口数	前年度末数		期間中の異動				今年度末数	
			加入		脱会			
	組合員数	出資口数	組合員数	出資口数	組合員数	出資口数	組合員数	出資口数
1口	1,992	1,992	7	7	152	152	1,847	1,847
合計	1,992	1,992	7	7	152	152	1,847	1,847

(2) 会議

ア. 総代会

第22回通常総代会 令和6年5月16日

* ホテルグランドヒル市ヶ谷

イ. 理事会

- | | | |
|-----|------------|----------|
| 第1回 | 令和6年4月19日 | * WEB開催 |
| 第2回 | 令和6年5月17日 | * 全日畠事務所 |
| 第3回 | 令和6年10月10日 | * 全日畠事務所 |
| 第4回 | 令和7年3月18日 | * 全日畠事務所 |

ウ. 幹事会

会計及び業務監査 令和6年4月16日

エ. 執行部・委員長会議（場所：全日畠事務所）

- | | | |
|-----|-------------|----------------------|
| 第1回 | 令和6年5月15日 | 総代会開催について |
| 第2回 | 令和6年7月25日 | 各委員会報告 |
| 第3回 | 令和6年9月9～10日 | 各委員会報告・東京都畠工業協同組合様訪問 |
| 第4回 | 令和6年10月10日 | 各委員会報告 |
| 第5回 | 令和6年12月3～4日 | 各委員会報告 |
| 第6回 | 令和7年1月23日 | 各委員会報告 |
| 第7回 | 令和7年3月17日 | 各委員会報告 |

オ. 支部会議等

令和6年6月17日 第60回東北畠業連合会総会・第26回東北畠工技能競技大会
* 宮城県庁・東京エレクトロンホール宮城

- 令和6年11月13日 関西ブロック会議・第96回京都畠技術競技会
*京都パレスプラザ
- 令和6年11月21日 愛媛県畠工業組合役員との面談
*松山市
- 令和7年2月16日 中国ブロック会議
*三原シティーホール
- カ. 事業委員会PD会議（WEB開催・19:00～21:00）
- 第15回 令和6年4月3日
 - 第16回 令和6年5月7日
 - 第17回 令和6年6月5日
 - 第18回 令和6年7月2日
 - 第19回 令和6年8月7日
 - 第20回 令和6年9月3日
 - 第21回 令和6年10月2日
 - 第22回 令和6年11月5日
 - 第23回 令和6年12月12日
 - 第24回 令和7年1月24日 *全日畠事務所（参集開催）
 - 第25回 令和7年2月13日
 - 第26回 令和7年3月5日
- 令和6年8月21日 WEBセミナー
(電子帳簿保存法・技能グランプリ出場者座談会)
- キ. 品質管理責任者セミナー
- 令和7年2月25～28日 新規・更新セミナー
*とやま自遊館（富山市）
 - 令和7年3月9日 更新セミナー
*高齢者福祉センター（鳥取市）
- ク. 関連団体会議・行事出席等
- ①中央技能検定委員会
- 第1回 令和6年11月7日 *升本ビル（西新宿）
 - 第2回 令和7年1月22日 *中央職業能力開発協会（高田馬場）
 - 第3回 令和7年2月20日 *中央職業能力開発協会（高田馬場）
 - 第4回 令和7年3月27日 *中央職業能力開発協会（高田馬場）
- ②全国畠産業振興会
- 令和6年6月5日 総会 *（株）カンペ京都本社
- ③畠でおもてなしプロジェクト実行委員会
- 令和6年6月24日 幹事会（WEB）
 - 令和6年7月26・27日 夏のワクワクキッズフェス
*日本橋三井タワー・アトリウム
- 令和6年8月9日 全体会議 *大建工業（株）（秋葉原）
 - 令和6年10月11日 幹事会（WEB）

	令和7年1月17日	幹事会 (WEB)	
④(一社)日本畠産業協会	令和6年6月14日	総会	*ベイサイドホテル・アジュール竹芝
⑤八代産畠表認知向上需要拡大推進委員会	令和6年5月23日	総会	*八代市役所
	令和6年12月22日	活動報告会議	*八代市役所
⑥全国い産業連携協議会	令和6年9月4日	総会	*JA八代本所
	令和6年10月9日	リトル・ママフェスタ東京2024	*池袋サンシャイン文化会館
	令和6年12月5日	畠カタログ作成プロジェクト(撮影)	*三鷹市
	令和7年3月12日	熊本県い業生産販売振興協会 三部会合同会議	*八代ホワイトパレス
⑦たたみ振興議員連盟、省庁関連	令和6年6月7日	挨拶訪問	*衆・参議院議員会館、経産省・国交省
	令和6年7月1日	有村治子参議院議員来所	*全日畠事務所
		金子恭之衆議院議員セミナー	*ANAインターナショナル東京
	令和6年7月11日	国土交通省担当官との意見交換	*衆議院第二議員会館会議室
	令和6年8月8日	こども霞が関見学デー	*経済産業省本館1F
	令和6年10月8日	国土交通省キャリアアップ会議	*全日畠事務所
	令和6年11月8日	たたみ振興議員連盟役員訪問	*衆・参議院議員会館
		畠振興について	*経済産業省
	令和6年11月20日	経済産業省関連視察	*今治タオル工業会
	令和7年1月8日	中野洋昌国土交通大臣と面談	*国土交通省
		技能検定についての協議	*厚生労働省
⑧和文化・産業連携振興協議会	令和6年7月10日	外国人旅行者和文化体験	*大日本茶道学会
⑨ (一財) ベターリビング	令和6年6月7日	総会および懇親会	*グランドアーク半蔵門

令和6年7月11日	畠のBL基準作成に関する協議 *(一財)ベターリビング
令和6年10月8日	BL第1回畠（仮称）基準検討WG会議 *(一財)ベターリビング
令和6年12月3日	BL第2回畠（仮称）基準検討WG会議 *(一財)ベターリビング
令和7年2月4日	BL第3回畠（仮称）基準検討WG会議 *(一財)ベターリビング

⑩その他

令和6年7月18日	(公社)日本将棋連盟（羽生善治会長と面談）
令和6年11月8日	畠総合保険契約更新の打合せ *全日畠事務所
令和7年1月24日	tata2024抽選会 *全日畠事務所
令和7年2月19日	(一財)住宅産業研修財団コミュニケーション・プラザでの講演 (畠業界の現況について)

(3) 一般事項

- ア. 出資口数及び払込出資総額等の変更登記
令和6年7月12日 東京法務局 台東出張所
- イ. 経済産業省 定款変更の認可
令和6年9月4日 (20240702製第21号)

(4) 特筆すべき事項

新畠のBL認定に向けた委員会が発足

(5) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位：円

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度
資産合計	10,435,316	14,428,412	12,132,214
純資産合計	9,816,422	9,965,606	8,928,904
事業収益合計	9,529,921	18,510,007	8,248,300
当期純利益金額	296,816	1,382,702	1,007,500

2. 品質管理委員会

- (1) 全日量の根幹事業である品質管理事業（品質管理責任者の新規・更新セミナー）ですが、2月に富山県（更新・新規）、3月に鳥取県（更新）が終了し、4月に山梨県（新規）の開催をもって、ようやく全地区で終了致します。
より畠表の品質管理を学んで頂けるよう、更新セミナー終了後に熊本県いぐさ・畠表活性化連絡協議会から派遣された講師による「畠表の見方講習」は、農水省からも高い評価を頂きました。
- (2) 「畠のお手入れハンドブック」では、巻末の仕様書があるタイプにて畠の品質表示を行って頂けます。

(3) 料品質表示事業ですが、昨年度より取り組んできた工事用品質規格表示ラベルを完成させ、12月より各支部向けに販売を開始しました。JIS規格や公共工事においては品質規格表示ラベルの全量貼付が義務付けられているため、料の種類や製造業者名、品質管理責任者名など記入項目が多く、その手間を改善するために、必要事項を印刷した完成版をお渡しできるようにしたものです。

一般住宅向けの料につきましても、品質表示は販売者・製造者の責務であり、お客様がその情報を容易に得られなければなりません。現在の規格を重視する社会におきましては、少なくとも各部屋に1枚は品質表示ラベルを貼付する必要があると考えます。各自が自発的・積極的に行うという品質表示の理念を再認識し、品質表示の意義を十分ご理解頂きまして、必ずラベルを貼って頂くよう重ねてお願い致します。

3. 事業委員会

組合員の皆様の事業発展と組織としての役割強化を目指し、さまざまな活動を進めてきました。PD (Planning Department) は、第2期メンバー16名で、新たな施策や戦略の導入、メンバー間の連携強化などに取り組み、より良い組織づくりを推進してきました。

(1) 保険事業

料総合保険

当保険は多くの組合員の皆様にご支持いただき、今年度も1,185名の方にご加入頂いております。手頃な保険料で充実した補償が受けられるため、お客様に安心と安全をお届けできる重要な事業となっております。

(2) 販促促進事業

全国料替えキャンペーン「tata (タタ) 2024」の実施

本キャンペーンは、9月22日から11月30日までの70日間にわたり実施されました。組合員の皆様のご協賛によるハガキの販売総数は11,817枚でした。

賞品総額は316万円、1等10万円分の旅行券(10名)、2等2万5千円相当のスティッククリーナー(20名)、3等1万円分の商品券(50名)、4等5千円相当の電気ケトル(100名)、5等3千3百円相当のシャボン玉ギフトセット(200名)で、合計賞品総数は380本でした。また有効応募数は5,786枚(販売枚数の約50%、直近3年間では最多数)でした。抽選会にはご多忙の中、たたみ振興議員連盟幹事長の有村治子参議院議員にもご参加頂き、盛況のうちに終了いたしました。

(3) 共同購買事業

ア. 抗カビ軟化剤NKB193ノーカービー

NKB193ノーカービーは、優れた抗カビ効果と料表の折り曲げに効果があり、毎年安定したご注文を頂いております。新たに一般のお客様向けに発売した300mlタイプは、使い易い容量として好評です。

イ. 畳のお手入れハンドブック

畳のお手入れハンドブックは、納品時にお客様へお渡しすることで、畳に関する疑問や不安を「畳相談」につなげる役割を担う重要なツールです。本年度も数多くご購入頂き、組合員の皆様から高い評価を頂きました。正しいメンテナンス方法をお伝えすることで、お客様の満足度向上にも貢献しています。

(4) 広報事業

ア. 全日畳ホームページ・SNS・LINE公式アカウント

全日畳のホームページでは、一般の方々への情報提供に加え、組合員向けの会員情報も定期的に更新しています。さらにセミナーやイベントの案内は、ホームページに加えSNSやLINE公式アカウントでも発信しています。今後も畳業界の最新ニュースや有益な情報を積極的にお届けして行きます。

イ. パンフレット

全国い産業連携協議会の協力のもと、若い世代の方々へ国産畳表を使用した畳について分かりやすく紹介した「暮らしとタタミ再発見BOOK」を10万部作成・配布しました。

ウ. PD (Planning Department)

PDの主な活動は、一般消費者に向け、近年多様化する「畳」に関しての効果的な発信やイベントを企画することと、加盟組合員に向けたこれから時代に必要な技術の提供や情報発信を行うことです。第2期メンバーは2年目を迎え、立場も経歴も違う個性豊かなメンバーがそれぞれの見地からさまざまなアイデアを持ち寄り、企画を実行しました。

・全日畳公式インスタグラム・フェイスブックの定期更新

毎月1回全日畳の公式InstagramとFacebookへ記事の投稿を今期も継続して行いました。今期は「畳育（たたみーく）」をテーマに、子育て中の方々に向けた畳のメリットや和室の良さをアピールする投稿を行いました。投稿をシェアする数も増え、一般の方々への周知も進んだと考えられます。

・オンラインセミナーと技能グランプリ入賞者のトークセッション

8月21日に行ったオンラインセミナー「電子帳簿保存法&技能グランプリ座談会」では、42名の方々に視聴いただきました。タイムリーな問題である電子帳簿保存法についての講義であり、参加者の感想はおおむね好評でした。また技能グランプリメダリストの方々によるトークセッションは予定時間を超過するほど質問があり、組合員の興味を引く内容であったと思われます。

・イベントの開催に向けて

以前から継続議論しているイベント開催については、これまで全国数か所で行う事を前提としてきましたが、まずは一か所で毎年継続してイベントを行うことで、メンバーの経験値を上げてから各地へ広げて行くことが良いと考えております。まずは9月24日の畳の日に、関東地域のAEON

にて第1回の開催に向け計画中です。

・月例会議・リアルミーティングの実施

毎月の会議でそれぞれの企画をブラッシュアップ、新たに立ち上げることを行ってきました。1月24日に行われた「tata抽選会」は、PDが主体となって運営を行いました。抽選会終了後、全日畳事務所にてリアルミーティングを開催しました。PD会議の議事録はHP内メンバーページでご覧ください。

・他団体のイベントへの参加

7月26日・27日には日本橋三井タワーで「夏のワクワクキッズフェス」、8月8日は経済産業省本館で「霞ヶ関こどもデー」、9月28日は「近畿建築祭しが大会」、10月9日に池袋サンシャイン文化会館で「リトルママフェスタ東京2024」にてミニ畳作りや畳コースター作りの体験を行い、PDメンバーを派遣いたしました。

4. 技能推進委員会

3年前より畳製作技能検定の受検者が年間100名を下回り、今期は39名と激減しました。中央職業能力開発協会の規定により、検定開催が隔年となる可能性も出てきます。技術革新に伴う新素材の出現や流行りの派生した畳製作も生業として必要ではありますが、1300年近く継承されてきた我が国の畳文化の根底を成す畳の製作技術は、国家検定にも位置付けられています。現在進行中の新たなBL認定の畳基準におきましても、有資格者の製作する畳であることが前提条件となります。

(1) 技能継承

建設業の中では内装仕上げ工事に含まれる畳ではありますが、多様な部屋の採寸から正確な床裁断・畳表の縫着等、それら多くの工程は高度な技術の上に成り立つものです。「畳」は日本固有の文化であり、古来より格式がある敷物として和の伝統文化を成してきました。

このような様々な技術によって成り立つ畳工事は、他の内装仕上げ工事業種とは一線を画すものである旨、国土交通大臣に陳情いたしました。

(2) 中央技能検定委員会

畳製作一級・二級技能検定の試験問題を作成する委員会に、5名の委員を派遣いたしました。

(3) 技能士の資質向上教材（技能教本発刊）

板入り畳の製作工程の技能教本は、撮影も終了し現在原稿校正が進んでおります。充実した内容となるよう協議を重ねております。

財産目録

令和7年3月31日

資産の部

(単位:円)

科 目	内 訳	金 額
I 流動資産		
現 金		31,064
預 金		
普通預金	りそな銀行・上野支店	610,663
普通預金	りそな銀行・上野支店	3,663,848
振替預金	秋葉原店UDX内ゆうちょ銀行	119,189
積立預金	りそな銀行・上野支店	2,250,847
売掛金	資料7に記載	919,274
棚卸商品	資料8に記載	1,794,241
未収組合費	香川支部	100,000
未収入金		
前払費用	PCA会計ソフト利用料	156,667
	流動資産合計	9,645,793
II 固定資産		
電話加入権		117,800
差入保証金	岩上ビル賃借保証金	500,000
	固定資産合計	617,800
	資産合計	10,263,593

負債の部

科 目	内 訳	金 額
買掛金		
未 払 金	一般財団法人日本規格協会、JCB	311,424
未 払 持 分	2,000×脱会者152名	304,000
預り金		
預り保険料		
仮受金		
未払法人税等		97,200
長期借入金		
	負債合計	712,624

正味資産の部

出資金	2,000×1,847名	3,694,000
利益準備金		952,000
特別積立金		952,000
教育情報積立金		
当期純利益金		39,547
前期繰越剩余额		3,913,422
	純資産合計	9,550,969
	負債・純資産合計	10,263,593

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 領	科 目	金 領
資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 產		I 流 動 負 債	
現 金	31,064	買 掛 金	
預 金	6,644,547	未 払 金	311,424
売 掛 金	919,274	未 払 持 分	304,000
棚 卸 資 產	1,794,241	預り金 職員他	
未 収 入 金	100,000	預り金 保険料	
前 払 費 用	156,667	前 受 金	
		未 払 法 人 税 等	97,200
		長 期 借 入 金	
流 動 資 產 合 計	9,645,793	負 債 合 計	712,624
II 固 定 資 產		純 資 產 の 部	
電 話 加 入 権	117,800	出 資 金	3,694,000
保 証 金	500,000	利 益 準 備 金	952,000
		特 別 積 立 金	952,000
		教 育 情 報 積 立 金	
		当 期 純 利 益 金	39,547
		前 期 繰 越 剰 余 金	3,913,422
固 定 資 產 合 計	617,800	純 資 產 合 計	9,550,969
資 產 合 計	10,263,593	負 債 ・ 純 資 產 合 計	10,263,593

損 益 計 算 書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

(単位:円)

費 用 の 部		収 入 の 部	
I 事 業 費		I 事 業 収 益	
品質表示事業費	392,964	品質表示事業収入	1,182,244
品質認定事業費	1,329,310	品質認定事業収入	914,633
教育情報事業費	1,124,148	教育情報事業収入	992,860
共同購買事業費	597,036	保険手数料収入	843,620
広報事業費	121,200	共同購買事業収入	1,372,049
販促事業費	3,082,100	販促事業収入	3,243,298
P D 事業費	363,530		
事 業 費 合 計	7,010,288	事 業 収 益 合 計	8,548,704
II 一 般 管 理 費		II 賦 課 金 収 入	
役 員 報 酬	2,149,800	組 合 費 収 入	9,995,000
雜 給	3,067,575	賦 課 金 収 入	1,380,000
法 定 福 利 費	30,000	特 別 賦 課 金 収 入	640,000
福 利 厚 生 費	58,524	賦 課 金 収 入 合 計	12,015,000
会 議 費	471,763	III 事 業 外 収 益	
関 係 団 体 負 担 金	330,000	受 取 利 息	4,357
旅 費 交 通 費	3,256,393	雜 収 入	797,731
消 耗 品 費	85,070	教育情報繰越戻入	15,000
通 信 費	410,692	事 業 外 収 入 合 計	817,088
器 具 備 品 費	407,947		
印 刷 費	165,469		
交 際 費	114,683		
支 払 地 代 家 賃	1,680,000		
水 道 光 熱 費	249,975		
租 税 公 課	600		
荷 造 運 費	283,075		
廣 告 宣 伝 費	6,072		
支 払 手 数 料	1,243,468		
事 務 用 品 費	158,649		
雜 費	68,202		
一 般 管 理 費 合 計	14,237,957		
III 事 業 外 費 用			
支 払 利 息			
雜 損 失			
事 業 外 費 用 合 計	0		
IV 特 別 損 益			
税引前当期純利益金	(132,547)		
法 人 税 等	93,000		
当 期 純 利 益 金	39,547		
合 計	21,380,792	合 計	21,380,792

剩 余 金 処 分 (案)

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

I 当期未処分剩余金

当期純利益金	39,547
前期繰越剩余金	<u>3,913,422</u>
	3,952,969

II 剩 余 処 分

利益準備金	4,000
特別積立金	4,000
教育情報繰越金	<u>2,000</u>
	<u>10,000</u>

III 次期繰越剩余金 3,942,969

監査報告書

中小企業等協同組合法第40条第5項により、組合から受領した令和6年度財産目録、貸借対照表、損益計算書、剩余金処分案（損失処理案）及び事業報告書を監査した。

1. 監査方法の概要

決算関係書類及び事業報告書の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、照合及び報告の聴取、理事会議事録の閲覧、重要な事業の経過報告の聴取その他通常取るべき必要な方法を用いて調査した。

2. 監査結果の意見

- (1) 財産目録、貸借対照表、損益計算書は、組合の財産及び損益の状況のすべての重要な点において適正に表示している。
- (2) 剩余金処分案は、法令および定款に適合している。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い組合の状況を正しく示している。

令和7年4月11日

全日本畳事業協同組合

監 事 村田精三



監 事 鈴木卓夫



監 事 谷口秀雄



員外監事 四方 茂



令和7年度事業計画(案)

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

I. 事業方針

私たち畳業界は、伝統や古式をのみ墨守するだけでなく、「伝統とは革新の集積である」ことを踏まえ、現代の住環境の快適性向上に貢献する新しい畳の提案を行う役割を担っています。特にデザイン性や機能性を重視した畳の開発、部分的な畳スペースの提案や環境配慮型の商品展開などは、今後の業界成長のカギとなると考えます。

業界を取りまく環境が依然として厳しい状況に置かれていることは免れません。しかしそのような中でも歩みを止めることはできません。社会・経済環境の変化に対応し、組合員の事業発展と畳業界の持続的成長を目指して、全日畳は以下の内容に取り組みます。

1. 市場調査と需要分析

市場動向や消費者のニーズに対して正しく俊敏に対応することが重要であると考えます。戸建住宅における新築需要においては、和室離れに少しでも歯止めをかけるべくデザイン性や機能性に特化した畳の紹介をハウスメーカー・建設業者に向け発信します。一方でリフォーム需要では、和室の減少傾向が続く中、既存の畳をこれ以上減らさないことに注力しなければなりません。

また、インバウンド向けの需要にも着目しています。日本での旅行期間中にワークショップや工場見学などを体験してもらう計画です。日本の伝統文化である畳に触れて頂き、畳文化を海外に持ち帰って頂くことです。Made in Japanの畳を世界に、という壮大な計画のまず一歩です。関係省庁や他団体とも情報共有や意見交換等を積極的に行い、あらゆる角度から畳の発信に努めます。

2. 品質向上と技術革新

全国各地で開催した品質管理責任者セミナーですが、4月に開催した山梨県の新規セミナーで一通りを終えることができました。早いもので来年からまた次の更新セミナーが鹿児島県からスタートします。

(一財)ベターリビングが認定する優良部品認定制度（BL保険）では、衝撃緩和型畳が認定を受けていますが、今後は品質管理責任者と畳製作技能士資格保持者を対象に、認定される畳の種類が大幅に増える方向で昨年度より協議に入っています。

本年度2月には大阪にて技能グランプリが開催される予定となり、今回も白熱した競技が期待されます。

畳は日本の住宅文化の象徴であり、新築住宅に和室を取り入れることで、日本の伝統を次世代に継承する役割を担っています。しかしリフォームや新築需要に

おいての洋風志向は未だ根強く、様々な空間に適応した畳を消費者に提案し届けることが求められています。最近では、モダンなデザインの畳や、洋風インテリアにも合うカラー畳、樹脂製畳など、現代の住宅需要に適した多様な畳の開発が進んでいます。フロア（床）の上に畳を設置したいという置き畳の需要も増えており、畳の新たな価値が発掘できるように取り組みます。

3. 環境・サステナビリティへの貢献

い草を使用した畳は天然素材であり、調湿作用、断熱性、防音効果、リラックス効果（香り）などがあり、環境負荷が少ない建材です。近年のエコ住宅志向の高まりに伴い、持続可能な住環境の構築や、近年の製造プロセスの向上による新しいデザイン畳の提案などの情報発信を進めています。

4. 広報活動と消費者啓発

畳の魅力や利点を広く消費者に伝えるための広報活動は重要です。全日畳ホームページは定期的に更新を行い、閲覧者に最新の情報を提供出来るよう努めます。メンバーページでは、組合に関する主な行事について組合員に直接情報発信致します。PDにおいては4月より第3期メンバー体制となり、新たに18名で活動することになりました。9月にはAEONモールにてPDメンバー主幹でのイベントを企画しており、来場者に畳の新しい発信ができるよう準備を進めています。

SNSでのストーリーズを活用した発信を頻繁に更新し、PDメンバーによるSNSでの定期投稿を行った結果、若い世代への拡散に一定の効果が見られました。引き続きウェブサイトやSNSを活用した情報発信を継続し、消費者とのコミュニケーション強化を図るための活動を進めます。

JTBにご協力を頂き、羽田空港国際線到着ロビーにあるインフォメーションカウンターにて、海外からの旅行者に日本の畳に関する情報提供を行います。全日畳としてインバウンドに向けた初の広報活動を開始する予定です。

5. 組合員支援

技術向上と経営力強化を目的とした、技術研修や経営セミナー等のプログラムを実施するための企画・立案を行います。同時に若手組合員の育成や次世代への技術の継承も、重要な課題として取り組みます。

6. 関係省庁・他団体との共有

経済産業省をはじめ、農林水産省・国土交通省・厚生労働省・文化庁と意見交換を活発に行い、業界が少しでも活性化するよう協議します。また、業界他団体と更に連携を強化し、オールジャパンで行うイベント開催に向けて企画・立案を行っていきます。

II. 事業計画

1. 総務委員会

組合員が減少する理由としては、やむを得ない廃業等の実情もありますが、その要因について改めて検証し、これから組合存続について考えていく必要があります。

(一財)ベターリビングにおいて前期から始まった(仮称)畠基準検討ワーキンググループ会議では、新畠をBL認定する方向で協議が進んでいます。この認定には全日畠品質管理責任者や畠製作技能士の資格が必要条件となるため、今まで行ってきた全日畠の事業が大きな成果として実現することになります。組合員が全日畠の取り組む様々な事業の重要性を理解されることで、退会に歯止めがかかるのではないかでしょうか。また新たな入会者を増やすことができるよう業務を進めて行きます。

2. 品質管理委員会

(1) 畠品質表示書・品質規格表示（品質表示ラベル）の貼付促進

全国いくつかの自治体におきましては、公共工事の畠納入に際し全日畠の品質規格表示ラベルの貼付が義務付けされています。今後は他地区におきましても、このような分離発注事例実例・実績を増やしていくよう検討し進めます。

新たな公共工事用のラベルについては、記入手間を省く印刷済と未記入の2パターンを広く普及させることを目指します。なお、旧品質表示ラベルも引き続きご使用頂けます。個人客向けの貼付は、貼付意義を理解しているものの積極性に欠けているように見受けられます。製作・販売の責務を遂行するためにも、巻末に仕様書のある「畠のお手入れハンドブック」に品質管理責任者名を明記して活用下さい。

(2) 新畠のBL（ベターリビング）認定について

昨年度より（一財）ベターリビングにて（一社）日本畠産業協会様と共同で進めている新畠のBL（ベターリビング）認定ですが、今期も予定された委員会に委員を派遣し、認定枠の拡大に向け引き続き進めています。

3. 事業委員会

(1) 畠総合保険について

当社の畠総合保険は、お客様に安心と安全を提供し、信頼関係を築くことを目的としています。組合員の皆様には、引き続き安全な作業環境の維持にご協力頂きまして、事故や怪我の防止に努めて頂きますようお願いいたします。また保険料の値上げを防ぎ安定したサービスを継続的に提供するためにも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(2) 販売促進事業

全国畠替えキャンペーン「tata」について

過去11回にわたる「tata」キャンペーンは、毎年多くの皆様からご支持をいただき、着実に成果を上げてまいりました。今年も「tata2025」の開催に向けて準

備を進めております。tataは組合員の皆様一人あたり6枚以上の応募ハガキ協賛によって成り立っています。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(3) 共同購買事業

ア. 抗カビ軟化剤 NKB193ノーカービー

NKB193ノーカービーは、2ℓ・5ℓの業務用サイズに加え、お客様向けに手ごろなサイズの300mlタイプの計3種類を販売しています。

イ. 畳のお手入れハンドブック

畳の納品時にお渡しいただける「畳のお手入れハンドブック」は、多くの皆様にご購入頂いております。巻末に仕様書が付いた個人向けタイプと、仕様書の無い業者向けタイプの2種類を販売しています。

(4) 広報事業

全日畳のホームページへのアクセス数を増やすため、コンテンツの充実や情報の積極的な発信に努めてまいります。業界や組合員の皆様の声に応えながら、ウェブサイトやSNS、LINE公式アカウントを活用し、定期的かつ効果的に情報をお届けします。

また、日本の伝統文化の魅力を広く発信するため、文化財や関連団体への畳の寄贈活動も継続して進めていきます。今年度も全国い産業連携協議会と連携し、畳のPRに向けた新たな方策を検討して行きます。さらに6月10日、13日には農水省が行う大阪・関西万博でのイベントを担当し、畳の魅力を国内外に向けて発信していく予定です。

(5) PD (Planning Department)

PD発足から、間もなく4年を迎えようとしています。これまで組合員の皆様の日々の事業活動にとって有益であると考えられる内容を中心に、オンラインセミナーを企画・実施してきました。来期は一般消費者の皆様に、「畳そのものの魅力」や「畳のある暮らしの良さ」をより広く認知して頂けるような取り組みに注力します。組合員の皆様に「組合加入の価値」をご認識頂けるよう、新たなアプローチにも挑戦して行きます。

ぜひ地域の将来を担う若手組合員にPDの活動についてご紹介頂き、次期メンバーとしてお誘い頂ければ幸いです。

・イベント開催

9月24日畳の日に、大きな集客の見込める「AEONモール幕張新都心」でイベントを行う計画です。日頃は畳に関心のない方々にも実際に畳に触れて頂くことで、身近な素材としての認知・理解を深めてもらう事が目的です。

・セミナー開催

セミナー終了後に行ったアンケートで要望の多かった分野について、オンラインでのセミナーを企画します。多くの組合員に視聴して頂けるよう、告知方法等を再考します。

・SNS活用の継続

InstagramとFacebookへの投稿を継続します。無料で発信できることはSNS最大の魅力であり、動画や実体験に基づいた投稿は、特に若い世代に向けた畳の発信が可能です。活動を発信し続けることは全日畳の組合員拡大にもつながるものです。

4. 技能推進委員会

多様化する現代社会ですが、日本文化を支える「畳」は今もなお継承され続けています。日本の歴史に深く寄与してきた畳の製作技術は、ヒューマンテクノロジーとして次世代に繋ぐ責務が私たちにはあるはずです。

従来の和室という概念を超えて、「部屋」から「和コーナー」とも呼ばれるスペースにも施工が求められています。様々な素材・工法も存在しますが、基本的な畳製作に基づく確かな技術や所見がなければ、商品価値を持つ「畳」の素晴らしいしさを消費者に伝えられません。求められるどんな畳にも柔軟に対応でき、消費者に喜ばれ愛される畳を提供できるのが厚生労働大臣認可の畳製作技能士です。

技能士の育成は畳業界にとって必要不可欠なものです。一人でも多くの一級技能士が誕生するよう、未取得の組合員には取得を推進し、同時に若手技能士の育成を進めて行きます。

(1) 従来より販売しております板入れ畳製作及び有職畳の製作工程を収録したDVD「関東版」「関西版」は、引き続き販売をして行きます。技能講習会・研修会・畳のイベントなどでご活用いただくよう是非ご購入をお願いします。

(2) 中央技能検定委員会

畳製作一級・二級技能検定の試験問題を作成する委員会には、本年も5名の委員を派遣いたします。

(3) 技能士の資質向上教材（技能教本発刊）

現在、YouTube「技～さらなる高みをめざして～」より「関東版」「関西版」の畳製作動画を視聴できます。受け継がれてきた伝統の技を若年者に伝え、更なる技術向上に役立てて頂きたいと思います。現在制作中の技能教本は、準備が整い次第発刊を行います。

第5号議案

令和7年度予算（案）

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

(支出の部)

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
I 事 業 費		I 事 業 収 入	
品質表示事業費	450,000	品質表示事業収入	1,200,000
品質認定事業費	420,000	品質認定事業収入	680,000
教育情報事業費	900,000	教育情報事業収入	1,000,000
共同購買事業費	1,100,000	保険手数料収入	750,000
広 報 事 業 費	1,000,000	共同購買事業収入	1,500,000
豊販売促進事業費	3,200,000	豊販売促進事業収入	3,240,000
P D 事 業 費	800,000		
事 業 費 合 計	7,870,000	事 業 収 入 合 計	8,370,000
II 一 般 管 理 費		II 賦 課 金 収 入	
役 員 報 酬	2,500,000	組 合 費 収 入	14,776,000
雜 給	2,400,000	組 織 贊 助 会 費	1,380,000
法 定 福 利 費	200,000	特 別 贊 助 会 費	960,000
福 利 厚 生 費	250,000	賦 課 金 収 入 合 計	17,116,000
会 議 費	850,000	III 事 業 外 収 益	
関 係 団 体 負 担 金	400,000	受 取 利 息	2,000
旅 費 交 通 費	4,500,000	雜 収 入	1,000,000
通 信 費	450,000	事 業 外 収 入 合 計	1,002,000
器 具 備 品 費	450,000		
印 刷 費	250,000		
交 際 費	300,000		
支 払 家 貸	1,680,000		
水 道 光 熱 費	300,000		
租 税 公 課	10,000		
荷 造 運 費	350,000		
広 告 宣 伝 費	50,000		
支 払 手 数 料	2,950,000		
事 務 用 品 費	300,000		
雜 費	200,000		
一 般 管 理 費 合 計	18,390,000		
III 事 業 外 費 用			
借 入 金 利 息	0		
予 備 費	228,000		
事 業 外 費 用 合 計	228,000		
合 計	26,488,000	合 計	26,488,000

第6号議案 定款の一部改正（案）承認の件

第43条（別表2）の変更箇所

地域	定数
北海道ブロック	2
東北ブロック	14 → 16
関東ブロック	13
甲信越ブロック	6 → 5
北陸ブロック	2
東海ブロック	12
関西ブロック	12
中国ブロック	9 → 10
四国ブロック	6
九州ブロック	23 → 21
宮城床	1
合 計	100

第7号議案 令和7年度賦課金徴収方法等（案）承認の件

本組合の令和7年度賦課金および徴収方法は次の通りとする。

1. 組合費

$$\text{組合員 } 1,847 \text{名} \times \text{年間} 8,000 \text{円} / \text{名} = 14,776,000 \text{円}$$

今年度も無駄の無い支出に努めながら、健全かつ安定的な組織運営および活動を図るものとします。徴収方法は、全日本畠事業協同組合の請求に基づき、単組ごとにまとめ、下記に定める組織賛助会費とともに本組合の指定する口座へ振込むものとします。振込手数料は各単組負担とします。

2. 賛助会費

(1) 賛助会員規約第2条(1)に定める法人組織等

$$\text{会費 } 46 \text{単組} \times \text{年間} 30,000 \text{円} = 1,380,000 \text{円}$$

(2) 上記(1)以外の法人又は個人等

$$\text{会費 } 32 \text{口} \times \text{年間} 30,000 \text{円} = 960,000 \text{円}$$

徴収方法は全日本畠事業協同組合の請求に基づき、賛助会員が本組合の指定する口座へ振込むものとします。

振込手数料は賛助会員負担とします。

3. 徴収時期

いずれも本組合の請求に基づき令和7年8月末までに支払うものとします。

4. 振込口座

りそな銀行 上野支店 普通預金 口座番号1334232
ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号 00160-0-158620

第8号議案 令和7年度における手数料、使用料の最高限度額（案）承認の件
手数料および使用料等は前記事業計画金額の40%を上限とする。

第9号議案 令和7年度組合借入金最高限度額（案）承認の件

借入金限度額 1,000万円以内とする。
借入先 りそな銀行・商工中金

第10号議案 役員選任の件

理事（20名）並びに監事（4名）は、本総代会終結の時をもって任期満了となりますので、定款第25条役員の定数の規定の範囲内で理事22名並びに監事4名を新たに選任するものです。

理事及び役員候補者は、次の通りであります。

理事候補者

	氏名	所属団体	役職
1	南 佳男	北海道畠組合連合会	副会長
2	佐々木 誠喜	宮城県畠業商工組合	理事長
3	佐々木 誠一	秋田県畠業組合	理事長
4	半沢 雅之	群馬県畠協同組合	理事長
5	砂川 貴幸	神奈川県畠工業協同組合	常務理事
6	岡田 曜夫	埼玉県畠商工業協同組合	理事
7	新井田 智	新潟県畠業組合連合会	理事長
8	堀田 登喜夫	山梨県畠同業組合連合会	専務理事
9	中林 政彦	富山県畠組合連合会	副会長
10	石河 恒夫	岐阜県畠組合	副理事長
11	大平 雅章	三重県畠組合連合会	副会長
12	磯垣 昇	京都畠商工協同組合	理事
13	幸尻 明浩	兵庫県畠商工業組合連合会	会長
14	甲斐 靖彦	広島県畠組合	理事長
15	久保 浩通	山口県畠工業組合	理事長
16	寺奥 佳生	徳島県畠商業組合	理事長
17	荒木 敏昭	長崎県畠工業組合	理事長
18	丸山 雅光	宮崎県畠工業組合	理事長
19	安藤 勝	鹿児島県畠工業組合	理事長
20	岩本 久和	沖縄県畠工業組合	理事長
21	的場 貴之	滋賀県畠工業協同組合	理事会推薦
22	佐々木 京子	愛媛県畠工業組合	理事会推薦

監事候補者

	氏 名	所属団体	役 職
1	富山 晃	山形県畳業組合連合会	副理事長
2	鈴木 卓夫	愛知県畳組合連合会	会長
3	谷口 秀雄	和歌山県畳商工組合連合会	会長
4	四方 茂	員外監事	税理士

第 11 号議案 役員報酬（案）承認の件

役員報酬の最高限度額は250万円以内とする。員外監事の報酬は15万円以内とする

第 12 号議案 次期総代会開催地決定の件

東京都内とする。

以上

役員名簿

(令和6年度)

敬称略

No.	役職	氏名	出身 都道府県	担当
1	理事長	石河恒夫	岐阜県	代表
2	副理事長	藤本正	京都府	
3	副理事長	佐々木誠喜	宮城県	
4	専務理事	大平雅章	三重県	
5	理事	岡田暁夫	埼玉県	総務委員長
6	理事	堀田登喜夫	山梨県	技能推進委員長
7	理事	吉金英明	大阪府	品質管理委員長
8	理事	的場貴之	滋賀県	事業委員長
9	理事	南佳男	北海道	
10	理事	中島三喜	福島県	
11	理事	半沢雅之	群馬県	
12	理事	池田雅晴	千葉県	
13	理事	神崎征美	神奈川県	
14	理事	新井田智	新潟県	
15	理事	村田実	富山県	
16	理事	森川正平	岡山県	
17	理事	岡添雅也	高知県	
18	理事	久保田義秋	福岡県	
19	理事	荒木敏昭	長崎県	
20	理事	岩本久和	沖縄県	
21	相談役	米花俊明	広島県	

1	監事	村田精三	山形県	監査
2	監事	鈴木卓夫	愛知県	監査
3	監事	谷口秀雄	和歌山県	監査
4	員外監事	四方茂	東京都	監査

資料1

2024年度組合費集計表・会員数集計表

2025年3月31日現在

No.	支部名	会員数	入会者	脱会者	賛助会費	組合費	合 計	会員数
		2024.4.1	期間中の変動		均等額	人数分		2025.3.31
						5000円／名		
1	北海道	46		2	30,000	230,000	260,000	44
2	青森	30		3	30,000	150,000	180,000	27
3	岩手	36		3	30,000	180,000	210,000	33
4	宮城	64		6	30,000	320,000	350,000	58
5	秋田	55		2	30,000	275,000	305,000	53
6	山形	71		1	30,000	355,000	385,000	70
7	福島	70		7	30,000	350,000	380,000	63
8	茨城	87		4	30,000	435,000	465,000	83
9	栃木	6			30,000	30,000	60,000	6
10	群馬	41		2	30,000	205,000	235,000	39
11	埼玉	17	3	3	30,000	100,000	130,000	17
12	千葉	43		1	30,000	215,000	245,000	42
13	東京	5			30,000	25,000	55,000	5
14	神奈川	50		16	30,000	250,000	280,000	34
15	新潟	74		20	30,000	370,000	400,000	54
16	富山	16			30,000	80,000	110,000	16
17	石川	17	2	1	30,000	95,000	125,000	18
18	山梨	50		3	30,000	250,000	280,000	47
19	岐阜	39			30,000	195,000	225,000	39
20	静岡	81			30,000	405,000	435,000	81
21	愛知	110		13	30,000	550,000	580,000	97
22	三重	15			30,000	75,000	105,000	15
23	滋賀	20			30,000	100,000	130,000	20
24	京都	70		3	30,000	350,000	380,000	67
25	大阪	64		5	30,000	320,000	350,000	59
26	兵庫	40		1	30,000	200,000	230,000	39
27	奈良	16			30,000	80,000	110,000	16
28	和歌山	33		2	30,000	165,000	195,000	31
29	鳥取	14			30,000	70,000	100,000	14
30	島根	13			30,000	65,000	95,000	13
31	岡山	42		1	30,000	210,000	240,000	41
32	広島	56		1	30,000	280,000	310,000	55
33	山口	54		5	30,000	270,000	300,000	49
34	徳島	42		1	30,000	210,000	240,000	41
35	香川	14			30,000	70,000	100,000	14
36	愛媛	34			30,000	170,000	200,000	34
37	高知	13		1	30,000	65,000	95,000	12
38	福岡	94		31	30,000	470,000	500,000	63
39	佐賀	21			30,000	105,000	135,000	21
40	長崎	61	1	4	30,000	310,000	340,000	58
41	熊本	74	1	3	30,000	375,000	405,000	72
42	大分	33			30,000	165,000	195,000	33
43	宮崎	38		1	30,000	190,000	220,000	37
44	鹿児島	63		6	30,000	315,000	345,000	57
45	沖縄	53			30,000	265,000	295,000	53
46	宮城県	7			30,000	35,000	65,000	7
合 計		1,992	7	152	1,380,000	9,995,000	11,375,000	1,847

資料2

賛助会員

企業名	口数	金額
株式会社安土産業	2口	40,000
押出発砲ポリスチレン工業会	5口	100,000
株式会社カンベ	1口	20,000
KLASS株式会社	3口	60,000
正文社印刷株式会社	1口	20,000
大建工業株式会社	1口	20,000
高田織物株式会社	1口	20,000
タタミでおもてなしプロジェクト	1口	20,000
CSK株式会社	1口	20,000
東海機器工業株式会社	5口	100,000
有限会社東海保険センター	3口	60,000
株式会社トクラ	1口	20,000
トクラテック株式会社	1口	20,000
日本繊維板工業会	2口	40,000
軒村政春畠店	1口	20,000
丸三製紙株式会社	1口	20,000
山中産業株式会社 大阪	1口	20,000
山中産業株式会社 東京	1口	20,000
合 計	32口	640,000

資料3

2024年度
品質表示事業実績

2025年3月31日現在

No.	支部名	わら床用 (枚)	建材床用 (枚)	加工用 (枚)	2点 シール (組)	品質規格ラベル (工事用)		合 計
						印刷あり (シート)	印刷なし (シート)	
1	北海道							
2	青森							
3	岩手							
4	宮城							
5	秋田							
6	山形							
7	福島			2,660				2,660
8	茨城							
9	栃木			1,000				1,000
10	群馬						60	60
11	埼玉							
12	千葉							
13	東京							
14	神奈川							
15	新潟							
16	富山							
17	石川	2,000	4,000					6,000
18	山梨							
19	岐阜				1,000			1,000
20	静岡			1,000				1,000
21	愛知			10,000				10,000
22	三重							
23	滋賀					40		40
24	京都	200		350	200	42		792
25	大阪		1,000	100			5	1,105
26	兵庫		2,000	2,000		210		4,210
27	奈良							
28	和歌山							
29	鳥取				100			100
30	島根		4,000		400			4,400
31	岡山							
32	広島		3,000	12,000				15,000
33	山口				1,000			1,000
34	徳島							
35	香川							
36	愛媛							
37	高知							
38	福岡		5,800					5,800
39	佐賀							
40	長崎							
41	熊本	7,000	2,000	8,000				17,000
42	大分							
43	宮崎			4,500				4,500
44	鹿児島	1,000		22,000				23,000
45	沖縄		6,000	10,000				16,000
46	宮城床							
合 計		8,200	25,800	77,610	2,700	292	65	114,667

資料4 2024年度共同購買および畠販促事業販売実績

2025年3月31日現在

No.	支部名	共同購買事業					畠販促事業	
		NKB193			畠ハンドブック			
		5ℓ (箱)	2ℓ (箱)	300ml (本)	仕様書あり (冊)	仕様書なし (冊)	tataはがき (枚)	tataのぼり (枚)
1	北海道			1				
2	青森						200	5
3	岩手	1				200	271	
4	宮城	5					650	
5	秋田			1			330	
6	山形						426	
7	福島						480	
8	茨城	1	1		300	150	560	
9	栃木					100		
10	群馬						296	2
11	埼玉	9					172	1
12	千葉				200		480	5
13	東京	1					120	6
14	神奈川							
15	新潟	11					663	6
16	富山					200	150	1
17	石川						102	
18	山梨				150	120	1,044	9
19	岐阜	2					360	1
20	静岡						246	
21	愛知	3	1		130	5	266	1
22	三重						250	
23	滋賀						102	3
24	京都				100		254	
25	大阪		1				390	
26	兵庫	1					55	
27	奈良						15	
28	和歌山	2					400	3
29	鳥取	12					251	1
30	島根							
31	岡山	3		10	200		310	
32	広島				200		540	1
33	山口	3					350	
34	徳島			20			252	
35	香川							
36	愛媛						219	
37	高知						124	
38	福岡	7			150		200	
39	佐賀	7				300	244	
40	長崎						400	
41	熊本					400	25	
42	大分							
43	宮崎							
44	鹿児島						300	
45	沖縄	2					320	
46	宮城床							
合計		70	5	30	1,430	1,475	11,817	45

資料 5

畠総合保険加入者数一覧表

2025年3月31日現在

No.	支部名	2024年度 加入者数	2025年度 加入者数
1	北海道	10	9
2	青森	19	23
3	岩手	18	13
4	宮城	46	39
5	秋田	26	27
6	山形	41	37
7	福島	49	44
8	茨城	60	57
9	栃木	0	0
10	群馬	35	33
11	埼玉	16	16
12	千葉	35	34
13	東京	5	5
14	神奈川	0	0
15	新潟	21	15
16	富山	11	11
17	石川	7	6
18	山梨	19	21
19	岐阜	26	26
20	静岡	53	44
21	愛知	73	65
22	三重	15	15
23	滋賀	10	14
24	京都	39	37
25	大阪	41	38
26	兵庫	24	23
27	奈良	13	12
28	和歌山	21	20
29	鳥取	12	11
30	島根	12	12
31	岡山	24	21
32	広島	27	28
33	山口	39	37
34	徳島	27	27
35	香川	0	0
36	愛媛	25	22
37	高知	12	12
38	福岡	49	39
39	佐賀	16	15
40	長崎	29	25
41	熊本	52	49
42	大分	28	28
43	宮崎	32	32
44	鹿児島	39	35
45	沖縄	28	28
46	宮城床	0	0
合 計		1,184	1,105
加入率		59%	60%

全化協 1名含まず

資料 6

2024年度事故支払事例

No.	支部	タイプ	被害物	支払保険金	状況
1	徳島	A	車	¥79,250	搬入・搬出時
2	岩手	B	床板	¥31,300	張替え時 接触
3	広島	D	ドア	¥11,500	搬入・搬出時
4	佐賀	B	化粧ガラス	¥20,300	採寸時 家具移動中
5	山口	E	ドア	¥19,200	畠替え作業時 家具移動中接触
6	青森	A	ふすま	¥14,800	搬入・搬出時
7	奈良	E	カーテン	¥53,793	搬入・搬出時
8	大阪	C	照明	¥45,820	搬入・搬出時
9	千葉	E	クロス	¥22,500	家具移動中接触事
10	山梨	A	玄関サッシガラス	¥17,000	搬入・搬出時
11	埼玉	D	ベッド枠	¥66,243	引き上げ時 家具移動中
12	大阪	C	エントランスガラス	¥52,200	搬入・搬出時
13	青森	A	手摺・壁・額	¥156,200	搬入・搬出時
14	鳥取	A	フローリング床	¥23,600	搬入・搬出時
15	埼玉	D	ドア・眼鏡	¥285,200	搬入・搬出時
16	山口	E	テレビ	¥74,800	採寸時
17	東京	F	車	¥275,264	材料運搬時
18	広島	D	シャンデリア	¥105,220	搬入・搬出時
19	福島	F	床板	¥30,200	点検時
20	京都	B	壁	¥20,800	搬入・搬出時
21	宮崎	F	玄関サッシガラス	¥545,550	納入時
22	山形	E	パソコンモニター	¥107,970	敷き込み時 家具移動中
23	岐阜	C	瓦	¥61,000	搬入・搬出時
24	広島	D	サッシ	¥7,676	引き取り時
25	秋田	D	床	¥55,500	敷き込み時
26	福島	F	畠床	¥59,000	お客様の預り物弁償
27	山形	E	自動車	¥113,129	搬入・搬出時
28	群馬	C	床	¥177,600	引き取り時 家具移動中

資料 7

令和 6 年度壳掛金残高

令和 7 年 3 月 31 日
単位 : 円

支部名	繰 越
北 海 道	
青 森	
岩 手	
宮 城	15,164
秋 田	
山 形	
福 島	
茨 城	7,365
栃 木	8,465
群 馬	
埼 玉	
千 葉	
東 京	
神 奈 川	
新 潟	
富 山	683,251
石 川	
山 梨	
岐 阜	
静 岡	
愛 知	23,808
三 重	
滋 賀	10,090
京 都	9,670
大 阪	1,200
兵 庫	44,600
奈 良	
和 歌 山	
鳥 取	
島 根	28,386
岡 山	
広 島	
山 口	71,659
徳 島	
香 川	
愛 媛	
高 知	
福 岡	15,616
佐 賀	
長 崎	
熊 本	
大 分	
宮 崎	
鹿 児 島	
沖 縄	
宮 城 県 畳 床	
そ の 他	
合 計	919,274

資料 8

棚卸資産表

令和 7 年 3 月 31 日

【品質表示証紙】

単位 : 円

品 目	在 庫	金 額	*
わら床用	36,678	92,795	*
建材床用	48,320	122,250	*
加工用	21,890	45,750	*
2点シール	6,564	108,306	*
品質規格表示ラベル (工事用)	11,371	36,273	*
合 計		405,375	*

(* 1 円未満の端数は四捨五入)

【販促キャンペーン】

品 目	在 庫	金 額
tataのぼり	30	32,432

【共同購買事業】

品 目	在 庫	金 額
アルミ製標識	20	18,260
カビ・ダニ マニュアル	1,600	182,512
N K B 193 300ml	370	210,012
N K B 193 2 ℥	13	111,197
N K B 193 5 ℥	43	436,768
イグサ枕	7	24,640
畳ハンドブック	4,493	32,619
検定用L定規	4	44,000
合 計		1,060,008

【教育情報事業】

品 目	在 庫	金 額
衝撃緩和畳床パンフレット	910	9,546
D V D	44	26,281
J I S 規格書	97	145,112
合 計		180,939

【用度品】

品 目	在 庫	金 額
切手・はがき		5,973
レターパック	28	16,800
レターパックライト	5	2,150
イベント用工具一式		90,564
合 計		115,487

【合計】

	金 額
棚卸資産	1,794,241

第23回 通常総代会資料

全日本畳事業協同組合

〒110-0005 東京都台東区上野3-4-6 岩上ビル
ホームページ <https://www.tatami.or.jp>

※訂正

P.9 2.(1)品質管理委員会 1行目 全日量→全日畠